



成田 あれ・これ



令和4年11月号 第329号

発行：成田市観光協会
成田市花崎町839
0476-24-3198

新型コロナウイルスの影響によりイベントの変更や中止が生じる場合があります。
最新情報をご確認の上お出かけください。ご理解の程どうぞよろしくお願いいたします。
尚、イベントの情報は令和4年9月14日現在です。

第23回 成田山公園紅葉まつり

秋の深まりとともに、紅葉が鮮やかに色づく季節となりました。成田山公園に涼しい秋風が吹く頃になると公園はまるで錦絵のような日本庭園に変貌します。

例年11月中旬から12月上旬にかけて、モミジ、クヌギ、ナラ、イチョウなど250本が赤や黄色に色づきます。池の水面に映る紅葉は優雅で美しく、足を進める度に変化する風景を楽しむことができます。

紅葉まつりでは成田山公園内竜智の池に浮かぶ浮御堂にて演奏会を、成田山書道美術館隣の茶室赤松庵(せきしょうあん)では茶会を開催します。

自然が創り出した、刻一刻と移り変わる美しい錦絵と共に、秋のひと時をお楽しみ下さい。

【会期】11月12日(土)～11月27日(日)期間中の土・日・祝日に演奏会やお茶会を開催します。

	演奏会 時間:11時～13時30分～ 場所:成田山公園内竜智の池 浮御堂(雨天中止)	お茶会 時間:10時～15時 (整理券を配布、定員に達し次第受付終了) 場所:成田山公園内茶室 赤松庵
11月12日(土)	箏 清翔会	矢澤 宗文 社中
11月13日(日)	箏 清翔会	諸岡 宗清 社中
11月19日(土)	箏 清翔会、尺八 竹樹会	熊谷 宗光 社中
11月20日(日)	二胡 ワン シャオフォン	阿地 宗玲 社中
11月23日(祝・水)	二胡 ワン シャオフォン	十和の会 社中
11月26日(土)	二胡 ワン シャオフォン	五井野 宗風 社中
11月27日(日)	二胡 ワン シャオフォン	鈴木 宗三 社中

【お問合せ先】(一社)成田市観光協会 TEL 0476-22-2102



企画展示「クラフト展—手仕事いろいろ—」

【期日】11月19日(土)・20日(日) 【場所】成田山書道美術館内(クラフト展開催日に限り入館無料)

【お問合せ先】成田山書道美術館 TEL 0476-24-0774

※昆虫展は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となります。



11月の予定

千葉県立房総のむら「令和4年度 ふるさとまつり」

文化の日にあわせ、伝統技術を持った職人による実演販売や各種の体験、大道芸の上演などを行います。

なお、当日は終日入場無料となります。

【日時】11月3日(木・祝) 9時～16時30分

【休館日】月曜日(月曜日が祝・休日の場合は開館し、翌日休館)

【お問合せ先】千葉県立房総のむら TEL 0476-95-3333

滑河観音 木まち

観音様のご縁日。大護摩修行やお稚児の練供養や植木市が行われます。

【日時】11月18日(金) 【お問合せ先】龍正院(滑河観音) TEL 0476-96-0217

成田市産業まつり

今年の成田市産業まつりは、今年1月にオープンした新しい「成田市公設地方卸売市場」を会場に開催します。会場内では、成田市の商工業や農業をPRする催しや、体験コーナー、物販、飲食物の販売等の出店があり、大人から子供まで楽しめるイベントも開催されます。

当日は会場である卸売市場の「関連食品棟」もグランドオープンとなり、市場も営業しますので、お買い物もお楽しみいただけます。

【日時】11月19日(土) 8時～15時 【場所】成田市公設地方卸売市場(成田市天神峰80番地1)

【お問合せ先】成田市役所 経済部 商工課 TEL 0476-20-1622



いざ！成田詣へ～街道旅日記～その④

江戸から佐倉・成田方面への道は、既に戦国時代から開かれていました。江戸時代の始め慶長15年(1610年)に、佐倉藩の藩主が、参勤交代のために、江戸から佐倉までの道を往還するようになり、五街道に次ぐ重要な街道「佐倉道」として、幕府から公認されました。江戸中期以降になると、庶民信仰の中から寺社詣りが広まり、講を組んで集団で旅に出ることが流行しました。幕末の頃の成田山への参詣者は10万人に達し、人馬がひっきりなしに街道を行き来したと言われていています。このように、成田山参詣が盛んになるにつれ、しだいに「成田街道」「成田道」と呼ばれるようになりました。

成田山への参詣の道は、陸路と利根川を利用する水路がありました。成田街道は、江戸を出て日光街道千住宿から分岐し、新宿(にいじゅく)ー小岩ー市川ー八幡ー船橋ー大和田ー臼井ー佐倉ー酒々井を経て成田に達する街道で、江戸から成田間16里余(約63キロメートル)の距離でした。



また、日本橋小網町か深川で船に乗り、小名木川、中川、新川の掘割水路を利用して本行徳へ上陸し、行徳街道を北上して八幡や船橋へ向かうルートもありました。小岩・市川の渡しに関所があり、庶民は行徳道を好んだようです。このルートは行徳船と呼ばれ大変人気があり、最盛期には60艘以上が就航していたそうです。

また、船で江戸川をさかのぼり関宿から利根川を下り、木下河岸(印西市)・安食河岸(栄町)に出て、成田へと向かう道もありました。

(次回へ続きます。)

イベント等の関連情報については、FEEL 成田 (<https://www.nrpk.jp>) をご覧下さい。